

～富士見生の今を伝える～

コミュニティ通信 Neo

Fujimi
第5号
静岡県富士見高等学校
コミュニティ研究会



▲体育の部クラス対抗リレーで優勝した特進3年3組は総合得点でも黄軍優勝に貢献

富士見祭盛り上がる

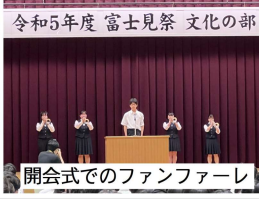
台風2号の影響で開会式・オープニングを1日繰り下げましたが、令和5年度の富士見祭は6月4日に文化の部、5日に体育の部が盛大に開催され、盛り上がりがありました。

富士見祭のオープニングでは4年後に控えた富士見高校100周年記念ロゴマークの発表があり、100周年ロゴ決まる



このロゴは、これまで絞られていた2つの図案を生徒と教職員の投票で決定したというものです。採用された図案は、校章と日の出を組み合わせたエンブレム風のことです。

台風2号の影響で交通機関がストップし、3日に行われるはずの開会式とオープニングが4日にずれ込みましたが、全体の日程を1時間ずらすことで富士見祭文化の部と体育の部を無事開催することができました。文化の部では22の部活動・同好会の展示、5部活動による



令和5年度 富士見祭 文化の部

開会式でのファンファーレ

新型コロナウイルス感染症の位置付けが変更になり、入場制限はあるが、保護者の方も参加して富士見祭を実施することができた▼これまでの3年間、卒業した先輩たちは富士見祭の中止や外部入場なし等の大きな制限の中で過ごしてきた▼今年度は「Our New Normal」というテーマにあるように、コロナ禍の3年間を経て、みんなで新しい富士見祭を作っていく再スタートを切ることができたのではないかと▼台風2号の影響でオープニングが1日ズレたり、発注した模範店の品物が当日まで届かなかったりしたが、それも「私たちの新しい普通」として昇華できた。

富士見祭



インターハイ5年連続出場的女子バレーボール部

6月4日、草薨このはなアリーナで行われた県総体バレーボール女子決勝。相手は昨年と同じ三島南高校でしたが、25対20、25対19のセットストレート勝ちで5年連続全国総体（北海道）への出場を決めました。優勝の原動力となったのが1年生アタッカーの福元さやかさん（背番号5）。持ち前の強烈なアタックを積極的に打ち込んでチーム最多となる13得点を挙げました。主将の渡邊実羽香さん（3年・背番号1）は、「あと残り2カ月弱、本戦まであるので、その間

5月20、21日に行われたソフトテニス女子県総体。団体で9年ぶりにインターハイ出場を決めました。また、個人戦でも小林麻央（1年）・佐野未歩（3年）ペアが準優勝して全国出場を決めました。主将の野田千晶さん（3年）は、「全国に出られるのは先生方、チームメイト、友だち、親がいつもサポートしてくれておかげなので、恩返

9年ぶりにインターハイ出場を決めました。また、個人戦でも小林麻央（1年）・佐野未歩（3年）ペアが準優勝して全国出場を決めました。主将の野田千晶さん（3年）は、「全国に出られるのは先生方、チームメイト、友だち、親がいつもサポートしてくれておかげなので、恩返



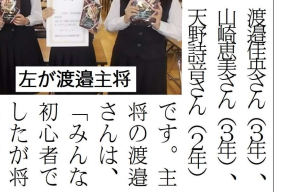
女子ソフトテニス部（前列左から4番目が野田主将）

したいです。応援よろしくお願いします」と語りました。

全国に羽ばたく富士見生

6月8日現在、全国高校総体、全国高校総文に決定している部活動を紹介します。県5連覇を果たした女子バレー部、女子ソフトテニス部、将棋部女子、バドミントンフライング部主将に全国への意気込みを聞きました。

5月21日に行われた県大会で女子団体Aチームが優勝し、8月2、3日に鹿児島県指宿市で行われる全国総文に出場が決まりました。団体は12年ぶりの快挙です。メンバーは、



左が渡邊実羽さん、将の渡邊さんは、初心で将棋アプリを入れて力を付けました。全国で1勝したい」と語りました。

女子団体は9年ぶり

すでに昨年末に全国総文出場を決めたバドミントンフライング部の主将、芦川莉巳さん（3年）は、「卒業した先輩たちと何度何度も練習した思い出深い昨年度の大曲を新メンバーで演技します。先輩たちの思いを背負い、心を一にして頑張ります」と語りました。

先輩たちの思いを背負う

【今号の担当者】城内 花音（3年） 笠井日菜子（3年）